2026年11月10日

各　位

会社名　株式会社アスリナ
代表者名　代表取締役社長 山元 秀樹
（コード番号：3647　東証スタンダード市場）
問合せ先　常務取締役経営管理本部長 髙橋 龍馬
（電話：03-5781-2522）

熱分解炭化装置事業の開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の持分法適用会社である株式会社ＦＵＫＵＭＵＲＡ（以下「FUKUMURA」といいます。）（福岡市博多区 代表取締役：福村 猛）が推進する熱分解炭化技術を利用した熱分解炭化装置の製造関連の事業を、新たな事業として開始することについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．新たな事業開始の理由

当社グループは、持続的な成長及び企業価値の向上に向け、事業ポートフォリオの見直し及び経営資源の選択と集中を進めるとともに、環境エネルギー分野を成長戦略の重要領域と位置付け、既存事業の収益改善及び中長期的な収益基盤の多様化に取り組んでおります。

近年、脱炭素社会及び循環型社会の実現に向けた取り組みが進展する中、企業においても、廃棄物の削減、未利用資源の有効活用及び資源循環への対応が重要な経営課題となっております。当社は、FUKUMURAとの接点を契機に、同社が有する熱分解炭化技術及びその事業性に着目し、昨年より、同社との間で事業化に向けた協議及び検討を重ねてまいりました。その後、約半年にわたる検討の後、現在は当社の持分法適用会社として熱分解炭化装置「ＣＡＲＢＯＮ＋α」を製品化し、販売代理店を通じた販売を開始しており、拡販に向けた取り組みを進めております。

FUKUMURAが開発する熱分解炭化装置は、木質系、食品系、畜産・農業系をはじめとするバイオマス資源等を熱分解し、炭化物へ転換する設備です。本装置は間接加熱方式を採用しており、固定式に加え、処理対象物の発生場所等に応じて移動式として運用することも可能です。

本装置を活用することにより、従来、焼却または廃棄処分されていた未利用資源等を減容化するとともに、炭化物として再資源化することが可能となります。生成された炭化物については、その原料及び性状に応じて、燃料、農業資材、建材その他の用途への活用を想定しており、未利用資源を新たな価値を有する資源へ転換することを目指しております。

当社は、当初、本装置の制御系統に係る特許の実施権を活用し、装置を構成する制御盤の製造及び供給を担う予定です。具体的には、外部製造事業者への製造委託により制御盤を製造し、FUKUMURAが開発する制御ソフトウェアを組み込んだうえで、本装置の構成機器として供給する体制の構築を進めております。

現在、FUKUMURAが有する熱分解炭化技術と、当社が担う制御系統の製造・供給機能を組み合わせ、本格的な製品供給に向けた製造体制及び販売体制の構築を進めております。

２．新たな事業の概要

（１） 当該事業の担当部門

環境エネルギー事業部において、熱分解炭化装置事業として推進する予定です。

（２） 当該事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

事業開始時点において特段の支出は予定しておりませんが、今後の事業の進捗に応じて、機器資材調達資金としてFUKUMURAへの貸付金30百万円、本装置の制御盤の製造及び供給に係る費用60百万円、並びに事業推進、営業活動及びプロジェクト管理等に要する費用10百万円の合計100百万円を支出する予定です。資金の具体的な支出金額及び時期につきましては、本日付「第三者割当による第12回新株予約権（行使価額修正条項付）及び第13回新株予約権の発行、新株予約権の買取契約及び無担保社債ファシリティ契約の締結、第１回無担保普通社債（少人数私募）の発行並びに第11回新株予約権の買取り及び消却に関するお知らせ」で公表いたしました資金の充当状況を見ながら、今後の進捗を踏まえて決定してまいります。

３．日程

（１） 取締役会決議日	2026年11月10日
（２） 事業開始日	2026年11月10日

４．今後の見通し

本件による2027年８月期業績予想への影響は精査中ですが、今後開示すべき事項が生じましたら速やかに公表いたします。当社グループは、本事業を通じて、未利用資源の再資源化、廃棄物処理負担の軽減及び資源循環の促進に貢献し、新たな環境関連事業として育成してまいります。

以 上